

死亡保険金が高い、月々の保険料が安い、夫や子どもの保険を優先……ホントにそれで

長生き時代の保険選



「保険テラス」のポリシーは
つねに加入者側に寄り添った
保険の提案

「保険テラス」が力を入れているのがアフターフォローアップ。保険に加入了した時点でお付き合いがなくなるのではなく、給付金申請や各種変更手続などの相談もいざなう受け付けており、お客さまとの近くで手助けするのを第一に心がけている。地域のつながりを大切にするイベントも開催されたり、大規模な災害のための「仙台の防災市」を行ったりなど、地域社会に貢献する活動も実施している。



保険テラス[®]
Insurance Terrace

全国の「保険テラス」リスト

自分の保険に不安や疑問を感じたら、
店舗に行ってみませんか？

高東明宇

田無アスター店
東京都西東京市田無町2-1-1
TEL:042-460-2210
神奈川県横浜市青葉区下作延
2-12-3
TEL:044-862-8931
東京エリア

新星工房

保険テラス+(Plus)
兵庫県神戸市中央区東須磨3-3-17
ワールド三宮ビルA9階
TEL:078-241-4201
アクタ西宮店
兵庫県西宮市北口町1-2
アクタ西宮東館2階
TEL:0798-31-3822

お客様専用予約フリーダイヤル(相談は無料です。お気軽にお問い合わせください)
0120-087-378
日・土曜祝日 午前9:00～午後9:00) HP <http://hoken-eshop.com/>
メール hoken-eshop.com/m/index.xhtml 保険ダイレクト <http://hokendirect.jp/>

安心なの?

安心なの? びはココが大事!



いまや保険は「何かが起こったときの備え」にならぬのは当たり前。本当に価値ある保険は、さらにはその後の生活の安心にもつながります。しかも「掛け捨て」損はなし。最終回では、「保険テラス」が爆鳴る「自分の未来を明るくする保険」「資産形成としての保険」をより深く追究します。

保険ショップ
業界を
変える男!

高津嘉邦さん(32)

PROFILE ●外資系保険会社を経て、日本人の医療への意識を変え、来院のためにもっと活用してほしい」と2年半で起業。同社が展開する来店型保険ショップ「医療テラス」は、県県内を第一、保険会社との資本関係がない。そのため、本当に意味で消費者の立場で保険アドバイスを行うことができる。

訪の日時を決めるなどの手間が多く、結局はそのままになってしまふケースが頻繁に見受けられました。だから、私は「保険テラス」をショッピングセンターなどの大型の商業施設に展開しています。こういう場所にあれば、お客様が買い物ついでに気軽に立ち寄れ、さまざまな保険の疑問や不安にお応えできる、と考えたからです。

ご自身にとって最適な保険を選ぶには、「本当に必要な保障は何なのか」をじっくり検討する必要があります。しかし、保険の内容は複雑で、ご自身だけで判断するのは難しい。また、特定の保険会社に頼ると、結局はその会社の保険に加入するしかないという不安もあります。この点、「保険テラス」では、本当の意味でお客さまの立場で、保険を見極めるスキルを持つFPがお話をうかがっています。

価値ある保険を選ぶには、最初に誰に相談するかが重要ではないでしょうか。「保険テラス」がすべてのお客さまにとって「いちばんに相談したい、信頼できる場所」になるために、努力を続けていきます。

長生き時代の保険選びはココを見直してみよう!

今までの考え方

定額保険で夫の死亡保険金を高額にしたい

図る不安とリスク

幸運なことに定年退職まで夫が健在。でも、その後の長い人生の生活費はどうするの?

「ただし、払った保険料は戻らない。年金受給までに十分な
はできるの？」

保険料の支払いのために家計

自分の生活はどうするの?

「日本人の保険の考え方を変えてい」と、私が強く感じたのは、Aさん（70・男性）との出会いでした。定期保険更新のご相談でしたが、このときAさんは、今まで支払った掛け捨ての保険料が、自分の死亡時に家族が受け取る保険金額をすでに超えていることに気づいたのです。

「もっと早く出会えていたら」と、私は激しく後悔しました。なぜなら、万一の備え

を「活用ください」
だけでなく、無事に払込み満了した後、支払った保険料以上の価値になる保険を提案案できたのに……と思つたからです。この経験が、私の経営する米店型保険ショップ「保険テラス」のポリシーを決定づけました。それは、「残された家族のため」という従来の考え方には加えて、「自身の明るい未来」のための保険提案です。

86歳です。退職金の減額、年金受給年齢の後ろ倒しなど、多くの人が60歳以降に新たな経済的な問題を抱えることが予想されます。こうした困難な状況に陥らないために、保険に対する日本人の意識が変わら、もっと保険と「保険テラス」を活用してほしいというのが、私の願いです。

また、日々の生活の中で、保険への疑問を感じたり、給付手続きでお困りになったことがあるかと思います。しかし、これまでの保険業界では、担当者に連絡を取つて来

A portrait of Dr. Michael Yiu, a middle-aged man with short dark hair, wearing a dark suit jacket, a white shirt, and a patterned tie. He is standing indoors with a blurred background.